

日越の首相

岡山県ベトナムビジネスサポートデスク (I-GLOCAL Dinh Thi Thuy Linh)

はじめに

国の政治体制の中で、首相は政府の代表であり、重要な存在である。ベトナムにも日本にも首相が存在するが、政治制度が異なっているため、首相の役割も異なっている。今回は日越の首相を比較することを通じて、ベトナムの首相について説明する。

1. 首相の役割

日本の政治制度は議院内閣制をとっているため、議院と内閣がある。内閣は政府の最高機関で、行政権限のほとんどを握っている。その内閣の代表者が首相である。一方、ベトナムの政治制度は民主集中制と呼ばれ、首相は政府の代表者である。現在の首相は NGUYEN XUAN PHUC (グエン・スアン・フック) 氏で、2016年4月に就任した。ベトナム政府は一政党のみで構成されるため、ベトナムの首相は必ず共産党の党員であるが、首相は党首ではない。

ベトナムの首相と日本の首相の共通点は共に国会議員という点である。しかし、日本の首相は内閣の代表者であり、ベトナム首相はベトナム政府の代表者である点で異なる。これは、ベトナムには内閣が存在しないためである。

2. 首相の選出方法

首相を選出する方法も異なる。日本国憲法では、日本の首相は国会で指名され、その後、天皇に任命されると定められているが、ベトナムの政府組織法第3条では、ベトナムの首相は主席に指名され、その後、国会に任命されると規定されている。これは、ベトナムは民主集中制の国である一方で、日本は議院内閣制を採用しているためである。また、日本では様々な政党の政治家が首相になることができるが、ベトナムは1党制であるため、ベトナムの政治は日本より安定している。

3. 首相の任務

日越の首相の任務と権限も異なる。日本では、憲法および国家行政組織法により、首相は行政各部を指揮監督するが、副大臣を任命したり、解職する権限がない。一方、ベトナムでは、憲法第94条、95条、98条(2013年発行)および政府組織法第3章によると、首相は省、政府直轄市の人民委員会の委員長及び副委員長を指導、副大臣を任命、解職する責任と権限

がある。しかし、ベトナムの国家機構は日本と同様に立法機関、行政機関、司法機関の3つに分かれているが、三権分立の体制がないため、実際の首相の権限は明確になっていない。つまり、法律上の権限より広い権限を有していると考えられる。この体制は「混合体制」と呼ばれている。

終わりに

上記の通り、日越の首相は異なる点が多い。日本では、立法機関、行政機関、司法機関は分立しているため、首相の権限は制限される。一方、ベトナムは、各機関が分立していないため、首相は各機関の方針に介入することがある。ただし、ベトナムは1党制のため、政治は安定しているという肯定的な見方もある。

参考文献

1. ベトナム憲法（2013年発行）

<http://thuvienphapluat.vn/van-ban/Bo-may-hanh-chinh/Hien-phap-nam-2013-215627.aspx>

2. ベトナム政府組織法

<http://thuvienphapluat.vn/van-ban/Bo-may-hanh-chinh/Luat-to-chuc-Chinh-phu-2015-282379.aspx>

3. 日本国憲法

<http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S21/S21KE000.html>

4. 日本の国家行政組織法

<http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S23/S23HO120.html>